

穴埋め（1 問 2 点合計 20 点）

答案用紙の空欄に書くこと。番号を間違えないように注意すること。

- [1] 資本主義的企業の利潤最大化行動と市場の競争状況とが揃った場合に、新技術は最初の革新的企業から同じ業界に属する他の諸企業へと する（ヒント：漢字二文字。広まっていくという意味）。

普及

- [2] 個人の労働において実際に生産する前に自分自身の構想を建てなければならないように、企業内協業においても実際に生産する前に会社の全社的な業務 を建てなければならない。

計画

- [3] 企業内分業の固有の利点として、労働力の熟練と労働手段の とが挙げられる。

専門化

△専門性（おまけで 2 点）

- [4] 経済的観点から見て、科学的知識の特徴として、体系性と 性が挙げられる。

公開

- [5] 市場に影響を及ぼすのは支払能力と支払意志とに裏打ちされた需要である。これを 需要と言う。

有効

- [6] 投資する際には、この業界に投資すると平均的に見てこのくらいの利潤率を上げてしかるべきだという基準が生じる。この基準になる利潤率をこの業界の 利潤率と言う。

期待

- [7] 企業間競争には、絶対価格を引き下げる価格競争の側面と、新生産物を開発したり既存の生産物の改良を行ったりする 競争の側面とがある。

品質

- [8] 銀行間での短期金融市場の中で、日々の現金準備の調整のために現金準備をごく短期間貸借し合っている市場を 市場という（ヒント：片仮名三文字。呼べばすぐに応えるという意味）。

コール

- [9] 【計算問題】もし割引利率が 2% だとするならば、一年後の 円の割引現在価値は 100 万円である。

102 万

△102（1 点）

- [10] 【計算問題】公衆保有の現金通貨（ C ）についてはこれを無視する（つまり $C=0$ だと仮定する）。もし銀行の準備金（ R ）が 2 倍になっても、通貨供給総量（マネースtock： $C+D$ ）が不変だったとしたら、信用乗数は 倍になったことになる。（ヒント：信用乗数の式を書いて C を消去して考えよ）

0.5

1/2

論述（1 問 10 点合計 30 点）

以下の問題のすべてに答えよ。

- [A] 商業資本の必然的成立と社会的生産全体に対するその意義（要するに商業資本の現代的意義の良いい側面）を具体例を挙げて説明せよ。

商業資本が現代資本主義社会のシステム内で必然的に形成されるためには流通費用の節約が必要である。個々の商業資本によって流通費用が節約されると、社会的に見ても流通費用が節約され、その分の費用を生産に、従って社会的富の増大に転用することができる。

理論：T：5 点

具体例：E：5 点

[B] 時間賃金（時給）制度が上手くいく場合と上手くいかない場合とについて、それぞれの条件を、具体例を挙げて説明せよ。

上手くいかない場合は、労働強度の管理を賃金制度だけで行うのが不可能であるような場合である。この場合には、高い強度で短時間労働した労働者の賃金よりも低い強度で短時間労働した労働者の賃金の方が高くなってしまう。〔この他に、個人個人で労働の熟練度あるいは複雑度が異なるような労働現場の事例を挙げてもいい。〕

上手くいく場合は、比較的均質な労働者が多い現場であり、しかも管理者が各労働者の労働強度を管理できるような場合である。

理論：T：5 点

具体例：E：5 点

[C] 生産力の上昇と資本構成との関係——生産力が上昇していくと資本構成 $\frac{C}{v}$ （ v は可変資本， C は前貸総不変資本）はどうなっていくのか——について、具体例を挙げて説明せよ。

生産力の上昇は、現代社会において生産力を決定づける科学的知識の意識的・計画的適用においては固定資本の増大とそれによる労働者の置換として現れる。したがって、 C 部分の絶対的増加と、それに比較しての v 部分の相対的減少として現れる。それゆえに、生産力が上昇していくと、資本構成は高度化していく傾向にある。

理論：T：5 点

具体例：E：5 点